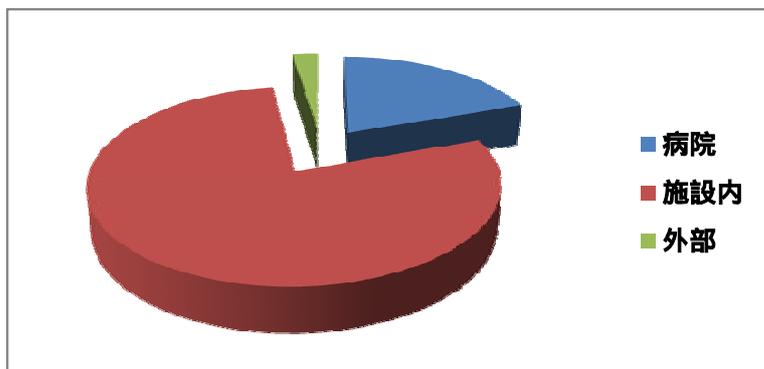


ケアセンター開設後の看取りの場所

(どこで看取りがなされたか)

(1994・8・1～2009・12・3)

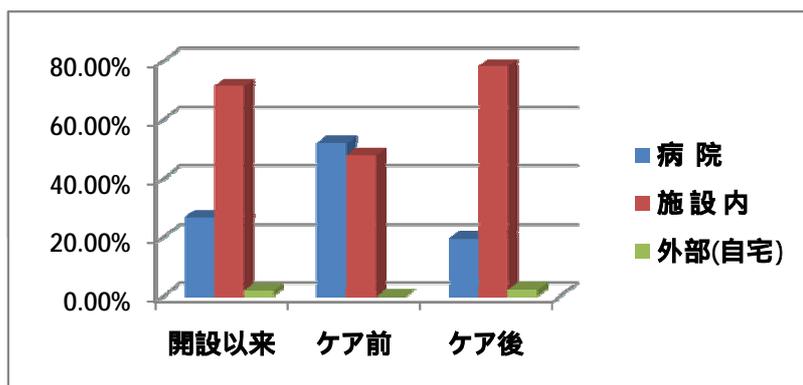


看取りの場所	割合
病院	19.54%
施設内	78.16%
外部	2.30%
合計	100.00%

ケアセンター開設以来現在までの看取りの場所を上に表示した。施設内での看取りが78%と多く、日本人の死亡場所が病院の83%とほぼ近い。日本では施設内死亡は少なく、有料老人ホームの死亡は2%台と、極めてすくない。現在の医療動向から考えると、病院の対応は狭められ、病院からの早期退院は、避けられないだろう。

{平成18年、人口動態統計より}

ケアセンター開設前後の看取りの統計



開設以来 1985/4/1～2009/12/3
 ケアセンター開設前 1985/4/1～1994/7/31
 ケアセンター開設後 1994/8/1～2009/12/3

死亡経過	開設以来	ケア前	ケア後
病院	26.79%	52.00%	19.54%
施設内	71.43%	48.00%	78.16%
外部(自宅)	1.78%	0.00%	2.30%
合計	100.00%	100.00%	100.00%

ケアセンター開設前は、病院死亡と施設内看取りがほぼ同じだったが、ケアセンター開設後は増加し、施設内看取りが、約78%となっている。

病院の急性期対応化は、ますます強くなるだろう。治療がない、慢性化した場合は、退院を求められるケースが増加するだろう。病院から退院を求められたら、いつでも帰れる「終の棲家」が大切になる。

2009・12・3現在